



平成27年 8月28日
国土交通省中部地方整備局
名古屋港湾事務所

海洋環境整備船「白龍」が上野間沖～師崎沖に 大量発生した流木を回収しています。

国土交通省中部地方整備局名古屋港湾事務所は、平成27年8月27日（木）17時30分頃に第四管区海上保安本部より「伊勢湾内の上野間沖から豊浜沖にかけて流木等の漂流物が大量にあるため、対応できないか」との要請を受けました。

伊勢湾内に大量に発生した流木は8月25～26日にかけて三重県・愛知県での豪雨の影響により、木曾三川や宮川などの河川から流入したものと考えられます。

海洋環境整備船「白龍」（名古屋港湾事務所所属）は、急遽現地へ向かい、豊浜沖～師崎沖において日没後（18時から19時45分）にも回収作業を実施し、流木約20本（径30～60cm、長さ6～8m）を回収しました。

翌28日も通常より約1時間早く出港し、内海沖～豊浜沖で引き続き回収作業を行っており、28日14時現在で約30本の流木を回収しています。

流木は上野間沖から師崎沖にかけて200～300本程度漂流しており、29日以降も継続して回収作業を行う予定です。

配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、
港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 海洋環境・防災課 下田(しもだ)

Tel 052-651-6791 Fax 052-651-3801

【参考】伊勢湾内の流木漂流状況



回収した流木 (8月27日)



流木漂流状況(8月28日)

海洋環境整備船「白龍」の概要

「白龍」の行う業務

- 通常は、伊勢湾・三河湾の海面浮遊ゴミの回収作業
- 油流出時には、速やかに流出現場に向かい油回収作業
- 伊勢湾の環境メカニズム解明のために、水質及び底質の定期的な観測を実施。
- 大規模地震・津波発生時の航路啓開。



担務海域
伊勢湾・三河湾 (1,800km²)



諸元
全長 33.5m
全幅 11.6m
総トン数198t

中部地方整備局 名古屋港湾事務所 所属



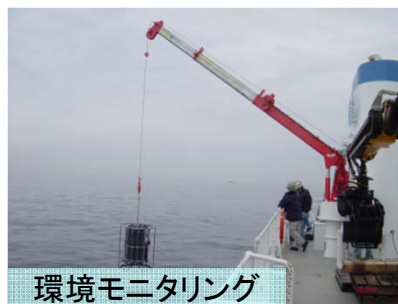
ゴミ回収状況



ゴミ回収状況



油回収装置



環境モニタリング



回収ゴミの陸揚げ

東日本大震災における災害支援(海上漂流物の除去) (平成23年4月23日～5月19日)

- 海上物流拠点の仙台塩釜港及び石巻港を有する仙台湾周辺海域において、航行船舶の安全を図るため津波により発生した大量の漂流物を回収。

○漂流物回収量【239.1m³】